

山口大学医学部附属病院緩和ケアセンター主催

第6回緩和ケア看護師教育プログラム開催報告

緩和ケアセンター事務局

令和4年7月23日、山口大学医学部附属病院緩和ケアセンター主催第6回緩和ケア看護師教育プログラムを、オンラインで開催しました。

緩和ケア看護師教育プログラムとは、緩和ケアを担う看護師を育成するために日本看護協会が作成した「看護師に対する緩和ケア教育テキスト」に基づいた緩和ケアの基礎について学ぶ教育プログラムです。

本来は、山口大学医学部附属病院を会場として、講義やグループで行う事例検討、ロールプレイを行います。今回は、新型コロナウイルス感染症の影響を鑑み、参加者を院内に所属する経験年数1年以上の看護師とし、オンライン形式で講義のみの開催といたしました。

講師は、院内の専門・認定看護師3名が担当し、プログラム参加者は15名でした。

研修終了後のアンケートでは、「分かりやすい内容とプログラム、資料でとても多くのことを学べた。」「緩和ケアの実態や重要性をより深く理解することができた。」「コミュニケーションスキルを高めて、患者・家族の思いに添ったケアが行えるよう努力したい。」「緩和ケアにおける看護師の役割をしっかりと理解したうえで、患者さんに関わっていくことが大切だとわかった。」など多くの意見が寄せられ、有意義な研修となり、無事に修了することが出来ました。

